

マルメ研修に参加して

ダイセー歯科クリニック 受付 竹内千紘
(現在、日本歯科大学新潟短期大学歯科衛生士科3年在学中)

マルメ大学での 5 日間は私の人生において大変貴重な体験となりました。多くの先生方へ感謝申し上げます。

研修初日に熊谷先生からの手紙の中で、「メディカルトリートメントモデルを真似するだけでなく、哲学を持つことが大切である」といったお言葉がありました。当院の目指している姿はなんだっただろうか、と目が覚める思いでした。この言葉を聞いて講義を受けたことで、改めて当院の目指していく方向、理念、哲学について考えることができました。ダン・エリクソン先生はじめ、諸先生方の講義はどれもユーモアに溢れていて、時が過ぎるのがとても速く感じられました。特に印象に残っているのは、マルメ大学の教育方法、PBL のお話でした。日本で従来型の教育を受けている私にとって、この手法はとても素晴らしいものに思えました。課題に取り組むうちに、自然と自ら学び、観察し、仲間と知識を共有する能力を習得することができるからです。

また、スウェーデンでは歯科医師・歯科衛生士ともに卒業後すぐ即戦力になれるだけのスキルを持っていますが、日本では卒業後、就職先で改めて教育をするというのがほとんどかと思います。公共歯科診療所見学の際に質問をする機会を得ることができましたが、実際の診療所の建物やお話から、衛生士の皆さんが自信を持って自らのライセンスを全うされていると感じました。当院でのミーティングや研修、その他のスキルアップにこの PBL を取り入れてゆきたいと思いました。

スウェーデンでは R2 ソフトを用い、リスクを 10 グループに分け、長期的に管理ができるシステムがあることを知りました。患者さんの未来を守る素晴らしいシステムだと思いました。日本においてこれを実現するためには、OP 診療所がネットワークを構築し、全国で共通のリスクアセスメントや長期的なメンテナンスを行えるようになれば…と思いました。

そのためにも、診療所のすべてのスタッフがチームとなって、共通の理解が常に出来ている状態であることがなにより重要だと思いました。患者さんの歯を残すこと、患者さんが生涯健康でいられるように、今回の経験を今後へ活かしていきたいと思います。